



県議会議員講座「こんにちは！県議会です」開催概要

令和3年 11月11日(木) 15時15分～16時05分

都城西高等学校 3年生 213名

講師：佐藤 雅洋 議員

重松 幸次郎 議員

開催内容

- | | |
|------------------|---------------|
| ① 学校代表あいさつ | ④ 県議会と議員活動の魅力 |
| ② 講師自己紹介 | ⑤ 質疑応答 |
| ③ 県議会の仕組みや役割等の説明 | ⑥ 生徒代表あいさつ |

○ 講座内容

講師である佐藤雅洋議員、重松幸次郎議員の自己紹介のあと、県議会の役割や仕組み、議会の話し合いの内容を知る方法、意見を県議会に伝える方法について、スライドで説明しました。

次に、県議会と議員活動の魅力について、講師それぞれから以下のとおり講話がありました。

【佐藤 雅洋 議員】

・議員活動の魅力・やりがいは、宮崎県の発展に貢献できることだ。住民の暮らしが豊かになるよう、住民の期待に応えられるような活動ができること。それから、地域の声を聞いて、それを形にすることができること。そのための色々な提案を知事に行っている。

・議員は、地域の方々の声を自治体の活動に反映していくよう努めている。その土地のことはその土地に実際にいる方がよく知っている。都城のことは都城の県議会議員がよく知っているし、私は中山間地域の出身なので、そういった土地や生活のことが肌感覚で分かる。昔の人の言葉で、「土に立つものは倒れず、土に生きるものは飢えず、土を守るものは滅びず」という言葉がある。そういう言葉をモットーにして活動をしている。

・議員活動を続けるために大事なことは議員としての調整力だ。定数39名の議員がおり、自民党の中にも現時点で23名いる。その中で調整を色々しつつ、自分の意見をしっかり伝えられるかどうか大事だ。皆さんの思いを実現するために、そういった実行力が大事となる。

【重松 幸次郎 議員】

・皆さんの意見を届けていくことについては、先ほど佐藤議員が言われたとおりだが、国が決めた政策を県民の皆さんに伝えることも議員の役割だと思っている。

・例えば、消費税が8%から10%に上がった。みなさんの上げてほしくない、という気持ちは重々分かる。しかし、それは社会保障や、子育て支援等に使うためなんだということ、幼児教育や高校の授業料の無償化といった社会保障のための増税なのだというのを伝えていくことも必要だ。

・なぜかという、少子高齢化の対策をしないと、今後大変なことになるためだ。平成8年の宮崎県の人口は116万人だったが、令和3年には106万人になった。毎年、1年間に四、五千人減っている。人口がどんどん減ると、自治体が残らない、担い手がない、伝統文化も残らないといった、いろんな悪影響が社会に出てくる。なので、子育てへの支援を、社会保障としてしっかりしていくことが大事になる。



質疑応答では、次のようなやりとりがありました。

【質問】人と話すのが苦手だが、県議会議員になれるか。

また、議員になるためには、どんな勉強をすれば良いか。

【佐藤 雅洋 議員】

- ・友達をたくさんつくって、大事にして、友達の声をちゃんときくこと。そうすると、こいつは頼りになるなということ、生徒会に出てみてよ、とかそういった話に繋がっていく。
- ・人の頼みをしっかり聞くとか、そういった日頃の心がけと、勇気・体力を出して頑張ればなれると思う。

【重松 幸次郎 議員】

- ・これから皆さん学校を出て、社会人になって仕事をされると思うが、その仕事一つ一つを大切に、全力で行うことだと思う。先輩や同僚から信頼を受けることになる。その信頼が、選挙の時に、我々の業界の代表として出てほしい、業界の現状を訴えてほしい、といった推薦につながる。
- ・一つ一つのことに全力で取り組んでいけば、みなさん議員になれると思うので頑張ってください。



○ 受講された生徒の皆さんへのアンケート結果

・県民の代表者としてこれから宮崎県をどれだけ良い街にするかは私たちの投票によって決まると思うので選挙権を持ったらきちんと投票に行きたいと思う。

・軽い気持ちで投票するのではなく、自分で調べて、自分の考えを持って投票しに行きたいと思いました。議員や政治は、自分とは関係ないと考えがちだけど、私たちの生活に欠かせない、身近なものなんだと思いました。

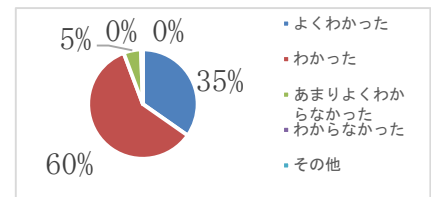
・県議会は、国の国会のような堅い雰囲気のものかと思っていたが、自由に訪れていいとおっしゃっていたので意外とフラットな感じなんだと思った。

・この前行われた総裁選や総選挙の影響などもあり、国の政治に関心を持つことは多かったが、自治体の政治についてはあまり知識が無かったので、とても勉強になった。

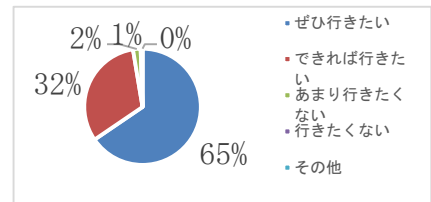
・地域に寄り添った活動がとても良いと思った。もっと若い方たちが議員として活動してくれたら私たちも親近感が湧き投票に行きたいと思う。

・実際の質疑応答の映像が印象に残り、どのような様子で会議が進められているのか知ることができて良い経験となりました。

問1 講座の内容はわかりやすかったですか。



問2 有権者になったら投票に行ってみたいと思いましたか。



問3 県議会やお住まいの市町村の議会の活動に興味がありましたか。

